

平成26年8月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成25年12月26日

上場会社名 株式会社ハピネス・アンド・ディ  
 コード番号 3174 URL <http://www.happiness-d.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田 泰夫  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画室長 (氏名) 追川 正義 (TEL) 03(3562)7525  
 四半期報告書提出予定日 平成26年1月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年8月期第1四半期の業績(平成25年9月1日～平成25年11月30日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年8月期第1四半期	3,452	10.3	△84	—	△93	—	△67	—
25年8月期第1四半期	3,128	—	△3	—	△14	—	△13	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年8月期第1四半期	△26.82	—
25年8月期第1四半期	△5.16	—

- (注) 1. 平成24年8月期第1四半期においては、四半期財務諸表を作成していないため、平成25年8月期第1四半期増減率の記載をしておりません。  
 2. 平成25年9月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行いました。平成25年8月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し「1株当たり四半期純利益」を算定しております。  
 3. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、平成25年8月期第1四半期は潜在株式が存在しないため記載しておりません。また、平成26年8月期第1四半期は潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年8月期第1四半期	9,408	1,903	20.0
25年8月期	8,344	2,000	23.8

(参考) 自己資本 26年8月期第1四半期 1,888百万円 25年8月期 1,990百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年8月期	—	0.00	—	30.00	30.00
26年8月期	—	—	—	—	—
26年8月期(予想)	—	0.00	—	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成25年9月1日付で1株につき2株の割合で株式分割を行っております。平成25年8月期については、当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。

3. 平成26年8月期の業績予想(平成25年9月1日～平成26年8月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	9,631	11.3	435	△1.1	417	△0.1	230	△5.0	90.96
通期	18,158	9.8	610	1.7	575	2.9	315	4.8	124.50

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

平成25年9月1日付で1株につき2株の割合で株式分割を行っております。業績予想の「1株当たり当期純利益」につきましては、当該株式分割後の発行済株式数(自己株式数を除く)により算定しております。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年8月期1Q	2,530,000株	25年8月期	2,530,000株
② 期末自己株式数	26年8月期1Q	—株	25年8月期	—株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年8月期1Q	2,530,000株	25年8月期1Q	2,530,000株

(注) 平成25年9月1日付で1株につき2株の割合で株式分割を行っております。平成25年8月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して発行済株式数を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料4頁「(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期財務諸表	6
(1) 四半期貸借対照表	6
(2) 四半期損益計算書	8
第1四半期累計期間	8
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期におけるわが国経済は、政府による積極的な経済対策や日銀による金融緩和策により、景気回復への兆しがみられたものの、雇用・所得環境は依然として厳しく、円安の影響による輸入物価の上昇や平成26年4月から予定されている消費税増税の影響も懸念されることから、依然として先行き不透明な状況で推移しました。

このような状況下で、当社は、お客様に感動を与えるプレゼント選びの場を提供する「アニバーサリーコンセプトショップ」という独自のサービスを基本とし、贈る人のときめき感につながるような魅力ある商品の拡充と商品鮮度の管理徹底に努めるとともに、お客様が何度でも足を運びたいくなるような質の高い「おもてなしの接客」に努めてまいりました。

商品施策といたしましては、時計、バッグ・小物を中心に前年度に引き続き販売が好調な高額商品の取り扱いを充実させるとともに、宝飾品を中心とした当社のオリジナルブランド商品であるハッピーキャンドルについては、雑誌掲載等による広告宣伝を強化し、社会貢献活動として取り組んでいるオレンジボン運動支援活動と連携した販促促進を実施するなど、ブランド強化に努めてまいりました。

販売活動の施策といたしましては、新店オープンセールやショッピングセンター(S C)のセール企画と連動した販促活動を実施し、新規顧客の開拓と固定客作りを図ってまいりました。

店舗展開といたしましては、羽生店(埼玉県)、草津店(滋賀県)、下妻店(茨城県)の改装を行ったほか、10月に倉敷店(岡山県)、11月に東員店(三重県)の2店舗を新規出店いたしました。

一方で、10月に路面型店舗である小見川店を元従業員に事業譲渡いたしましたことから、当第1四半期末の店舗数は52店舗となりました。

商品部門別の売上の状況につきましては、宝飾品は販売強化の取り組みの成果が一部でみられるものの力強い回復までには至らず売上高563,071千円、時計はロレックス、オメガなどのブランド時計が好調に推移し売上高906,186千円、バッグ・小物はルイヴィトンなどの高額ブランド品が好調に推移し売上高1,982,200千円、その他の売上高は1,130千円となりました。

円安による仕入れ価格の上昇に伴い、販売価格への転嫁を進めておりますが、一部の売れ筋高額商品の販売競争が激化していることもあり、当第1四半期においては売上総利益率が低下することとなりました。また、ハッピーキャンドルその他の広告宣伝を強化したこと等により、販売費及び一般管理費が増加いたしました。

以上の結果、当第1四半期累計期間の業績は、売上高3,452,588千円(前第1四半期累計期間比10.3%増)、営業損失84,895千円(前第1四半期累計期間営業損失3,943千円)、経常損失93,470千円(同経常損失14,945千円)、四半期純損失67,874千円(同純損失13,067千円)となりました。

㈱ハピネス・アンド・ディ（3174）平成26年8月期第1四半期決算短信（非連結）

なお、当社の業績は、年末年始商戦、とりわけクリスマス時期を中心とした12月の年末商戦のウエイトが高くなっているため、第2四半期に偏重しております。

当社の、平成24年8月期（自平成23年9月1日至平成24年8月31日）、平成25年8月期（自平成24年9月1日至平成25年8月31日）及び平成26年8月期（自平成25年9月1日至平成26年8月31日）における四半期の売上高及び売上総利益は下記のとおりであります。

（単位：百万円）

		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	合計
平成24年8月期	売上高 (構成比)	3,174 (20.3%)	5,168 (33.1%)	3,589 (23.0%)	3,697 (23.6%)	15,630 (100.0%)
	売上総利益 (構成比)	808 (20.8%)	1,289 (33.3%)	902 (23.3%)	876 (22.6%)	3,876 (100.0%)
平成25年8月期	売上高 (構成比)	3,128 (18.9%)	5,519 (33.4%)	4,046 (24.5%)	3,841 (23.2%)	16,536 (100.0%)
	売上総利益 (構成比)	793 (19.2%)	1,378 (33.3%)	1,019 (24.7%)	941 (22.8%)	4,132 (100.0%)
平成26年8月期	売上高 (構成比)	3,452 (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)
	売上総利益 (構成比)	818 (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)

（注）上記売上高及び売上総利益には、消費税等を含んでおりません。

（2）財政状態に関する説明

（流動資産）

当第1四半期会計期間末における流動資産の残高は、7,770,991千円となり、前事業年度末と比較して959,181千円増加しております。これは主として、新店オープンおよび既存店舗の12月商戦に向けた商品確保により商品が1,503,219千円増加したものの、その支払いにより現金及び預金が709,291千円減少したことが要因であります。

（固定資産）

当第1四半期会計期間末における固定資産の残高は、1,637,945千円となり、前事業年度末と比較して104,852千円増加しております。これは主として、新規出店のため、建物が66,945千円、工具、器具及び備品が10,411千円、敷金及び保証金が16,826千円増加したことが要因であります。

（流動負債）

当第1四半期会計期間末における流動負債の残高は、4,367,095千円となり、前事業年度末と比較して1,062,810千円増加しております。これは主として、12月商戦に向けた商品確保により支払手形及び買掛金が1,021,967千円増加したことが要因であります。

（固定負債）

当第1四半期会計期間末における固定負債の残高は、3,138,680千円となり、前事業年度末と比較して99,036千円増加しております。これは主として、償還により社債が60,000千円減少したものの、新規借入れにより長期借入金が127,111千円増加したことが要因であります。

(純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産の残高は、1,903,161千円となり、前事業年度末と比較して97,812千円減少しております。これは主として、配当金の支払いや四半期純損失の計上により利益剰余金が105,824千円減少したことが要因であります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成25年10月11日に公表いたしました平成26年8月期の第2四半期(累計)及び通期の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (平成25年8月31日)	当第1四半期会計期間 (平成25年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,681,555	1,972,263
売掛金	1,052,860	1,128,864
商品	2,856,504	4,359,723
貯蔵品	95,199	98,448
その他	125,690	211,691
流動資産合計	6,811,810	7,770,991
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	452,096	519,041
構築物(純額)	147	42
工具、器具及び備品(純額)	212,713	223,124
リース資産(純額)	10,052	16,333
建設仮勘定	—	1,050
有形固定資産合計	675,010	759,591
無形固定資産		
リース資産	24,106	22,135
その他	16,028	14,555
無形固定資産合計	40,134	36,691
投資その他の資産		
敷金及び保証金	451,410	468,236
関係会社株式	88,159	88,159
その他	281,014	287,752
貸倒引当金	△2,636	△2,486
投資その他の資産合計	817,947	841,661
固定資産合計	1,533,092	1,637,945
資産合計	8,344,903	9,408,936



(単位:千円)

	前事業年度 (平成25年8月31日)	当第1四半期会計期間 (平成25年11月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,346,046	2,368,014
1年内返済予定の長期借入金	1,264,668	1,296,388
1年内償還予定の社債	247,600	234,600
未払法人税等	125,955	5,846
賞与引当金	66,751	101,636
その他	250,334	360,610
資産除去債務	2,928	—
流動負債合計	3,304,285	4,367,095
固定負債		
社債	100,000	40,000
長期借入金	2,808,576	2,935,687
資産除去債務	71,897	74,038
その他	59,169	88,954
固定負債合計	3,039,643	3,138,680
負債合計	6,343,928	7,505,775
純資産の部		
株主資本		
資本金	324,530	324,530
資本剰余金	311,880	311,880
利益剰余金	1,347,865	1,242,041
株主資本合計	1,984,275	1,878,451
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	6,233	10,319
評価・換算差額等合計	6,233	10,319
新株予約権	10,465	14,390
純資産合計	2,000,974	1,903,161
負債純資産合計	8,344,903	9,408,936

(2) 四半期損益計算書  
第 1 四半期累計期間

(単位：千円)

	前第 1 四半期累計期間 (自 平成24年 9 月 1 日 至 平成24年11月30日)	当第 1 四半期累計期間 (自 平成25年 9 月 1 日 至 平成25年11月30日)
売上高	3,128,977	3,452,588
売上原価	2,335,827	2,634,218
売上総利益	793,149	818,370
販売費及び一般管理費	797,093	903,265
営業損失 (△)	△3,943	△84,895
営業外収益		
受取利息	130	397
受取配当金	145	181
業務受託料	—	953
受取保険金	183	1,361
その他	264	535
営業外収益合計	723	3,429
営業外費用		
支払利息	10,744	10,624
その他	982	1,380
営業外費用合計	11,726	12,005
経常損失 (△)	△14,945	△93,470
特別損失		
固定資産廃棄損	65	3,013
事業譲渡損	—	2,740
特別損失合計	65	5,754
税引前四半期純損失 (△)	△15,010	△99,224
法人税、住民税及び事業税	2,814	3,387
法人税等調整額	△4,758	△34,737
法人税等合計	△1,943	△31,350
四半期純損失 (△)	△13,067	△67,874

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社はインポートブランドを中心とした宝飾品、時計及びバッグ・小物等の小売業という単一セグメントであるため記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。